**第6回日本トレーニング指導学会大会　発表申込**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名  （フリガナ） |  | 生年月日 | 西暦　 　　　　年　 　月　 　日 |
| 年　齢 | 歳 |
| 会員番号 | ※JATI会員のみ | | |
| 所属 |  | | |
| 連絡先 | 住所　〒  TEL：  E-mail： | | |
| 発表タイトル |  | | |
| 発表形式 | □　口頭発表　　　　□　ポスター発表　　　　□どちらでも良い  ※ご希望の形式の□を、■にしてください。  ※審査の結果、ご希望の形式でご発表いただけない場合がございます。 | | |
| 発表種別 | □科学的研究　　■実践報告　　□国際情報  ※ご希望の種別の□を、■にしてください。 | | |
| 表彰希望 （対象者のみ） | 表彰の対象になることを、  □希望します　　　　　□希望しません  ※該当する項目の□を、■にしてください。  ※発表当日（2017年12月17日）に31歳未満の方が対象です。 | | |

※氏名は、発表代表者のお名前を記入してください。

※抄録は2ページ目に記述してください。

タイトル（太字、中央よせ）

脂肪太郎1、筋肉有子2、筋骨隆生1, 2

1日本トレーニング指導大学　筋力増強学部、2国立スポーツ科学大学　筋パワー開発学部

*「改行」*

**背景：**どのような動機（例えば、科学的または経験的背景や仮説）に基づいて報告する介入（トレーニング方法、指導方法など）を行ったかを２、３行で書く。また、報告する事例に関するテーマで科学的に未解明な部分があればそれも述べる。**実践報告の目的：**事例報告の目的を簡潔かつ明確に記述する。**対象者または対象チーム：**事例報告の対象者または対象チームの特徴（身長、体重、年齢、競技歴、競技レベル、既往歴など）を記述する。ただし、事例報告の内容や結論の妥当性を読者が正しく判断するために必要な必要最小限の特徴を記述する。**測定環境：**事例報告からの知見がトレーニング指導へどのように適応することができるのかを読者が判断するための一助として、測定環境を記述する（例：実験室、トレーニングルーム、人工芝グラウンド、体育館など）介入方法：選手やチームに対する介入内容（トレーニング手段、スケジュール、期間、使用器具、トレーニングボリュームなど）の詳細を記述する。**測定手順及び分析方法：**結果の解釈に必要不可欠な測定の手順、条件、測定機器、分析方法などの詳細を記述する。**結果：**主要な結果を記載する。ただし、ただ単に、「上がった」だとか「下がった」などというだけ記載するのではなく、測定した数値も示し、主要な結果を記載する。**考察：**結果から導き出される考察や結論を述べる。ただし、これらの考察や結論は、先に述べた目的や仮説と関連したものでなければならない。**【現場への提言】**研究結果から合理的に導き出すことのできるトレーニング指導への提言、および、その提言が適応できると考えられる環境や条件なども含めて記載する。ただし、研究目的から逸脱したトレーニング指導への提言は行ってはならない。